



南町小だより

つよく かしこく あたたかく

平成27年4月 6日

校長 福田 俊彦

平成27年度の南町小学校の教育

校長 福田 俊彦

新年度が始まりました。昨年度までの教育活動をもとに、「みんなの子供をみんなで育てる学校」「子供が子供をはぐくむ学校」「子供が生活を創る学校」としての役割を推進していきます。その中では、多様な体験に基づいた子供の成長が期待できます。人との関わりを広め、深め、よりよい関係へと高めていくことが期待できます。地域を自分のふるさとと思える機会をもつことができます。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、引き続き南町小学校の子供をみんなの子供として見守っていただけますようお願いをいたします。今年度の教育活動の概要をお伝えします。

1 人権尊重教育推進校「互いを認め合い、差別をしない・させない・見過ごさない子供」

向山小学校、開進第二中学校との小中一貫教育を人権教育を核として進めています。子供は、多くの方々、地域社会とのかかわりの中で生活をしています。かかわる体験は、自分の大切さとともに他の人の大切さを感じ、将来に渡ってこのことを自分のこととして考える機会となります。この機会を大切にしつつ3校で連携を深めた教育活動を積み重ねていきます。

2 「わかる」「できる」授業の創造

「もう終わりなの。」「わり算を正確にできるようになりました。」「友達の説明が分かりやすかったです。」昨年度の授業で聞かれた子供の声です。本年度も、授業のねらいを明確に示します。そして、何を、どのように学習するのか、子供が戸惑うことがない説明や指示の仕方、1時間の学習内容が分かる黒板への書き方、学習内容を振り返ることができるノートの書き方を充実させていきます。

3 家庭とともに創る健康

「早起き 早寝 朝ご飯」。ご来校の際は、保健室に続く廊下、西側の昇降口に掲げてある看板をご覧ください。朝の規則正しい生活は、友達とのかかわり方の落ち着きにつながります。学習への集中にもつながります。規則正しい生活は継続から創り出され、自らの力となります。ご家庭でお子さんとの話題にも取り上げてください。

4 危険を予知・回避する力の向上

子供を取り巻く社会環境に意識を向けてください。「自分の命は自分で守る」。その力を高めていくことは、以前よりも強く求められています。訓練を積み重ね、自らの行動を振り返ることが、その力の育成につながります。学校では、避難訓練、セーフティー教室、交通安全教室などの場を計画的に設け、自分の命は自分で守る指導を継続していきます。

一人ひとりの子供が、自分の成長をしっかりと捉えることができ、自分のよさを活かす目標を設けることができる平成27年度としていきます。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。